

# 視察研修の報告

群馬県甘楽郡甘楽町

令和2年2月14日（金）

# 群馬県甘楽郡甘楽町（かんらまち）

- 群馬県の南西部に位置し、東は高崎市、西と北は富岡市、南は藤岡市と下仁田町に接しており、都心まで100kmの距離にあります
- 面積58.57km<sup>2</sup> 総人口13,033人 世帯数5,089世帯（令和2年6月現在）

参考…【宮代町】面積15.95km<sup>2</sup> 総人口33,946人 世帯数15,148世帯（令和2年6月現在）

# 現地研修の行程

- 甘楽町役場 (現地研修①)  
適正配置に至った経緯  
質疑応答等
- 甘楽町立甘楽中学校 (現地研修②)  
施設内見学

# 適正配置に至った経緯と背景

- 児童生徒数が減少していることから、単学級（数学年の生徒を1学級に編制すること）が増加しており、集団学習の中で育まれる社会性などを教育する学習環境が失われつつあった。
- 部活動に種目選択の自由がなく限られた中での活動となっており、個性や能力を伸ばす機会が減少している課題が出ていた。
- 給食センターの老朽化で保健所からの衛生環境の指摘があった。
- 体育施設が授業に対応しておらず整備する必要があった。

出典…甘楽町資料

# 児童・生徒数の推移

各中学校の生徒数の差が徐々に大きくなり、特に山間部の旧第三中学校（秋畑地区）では、最後の5年間は全生徒数が30人を下回る状況になった。

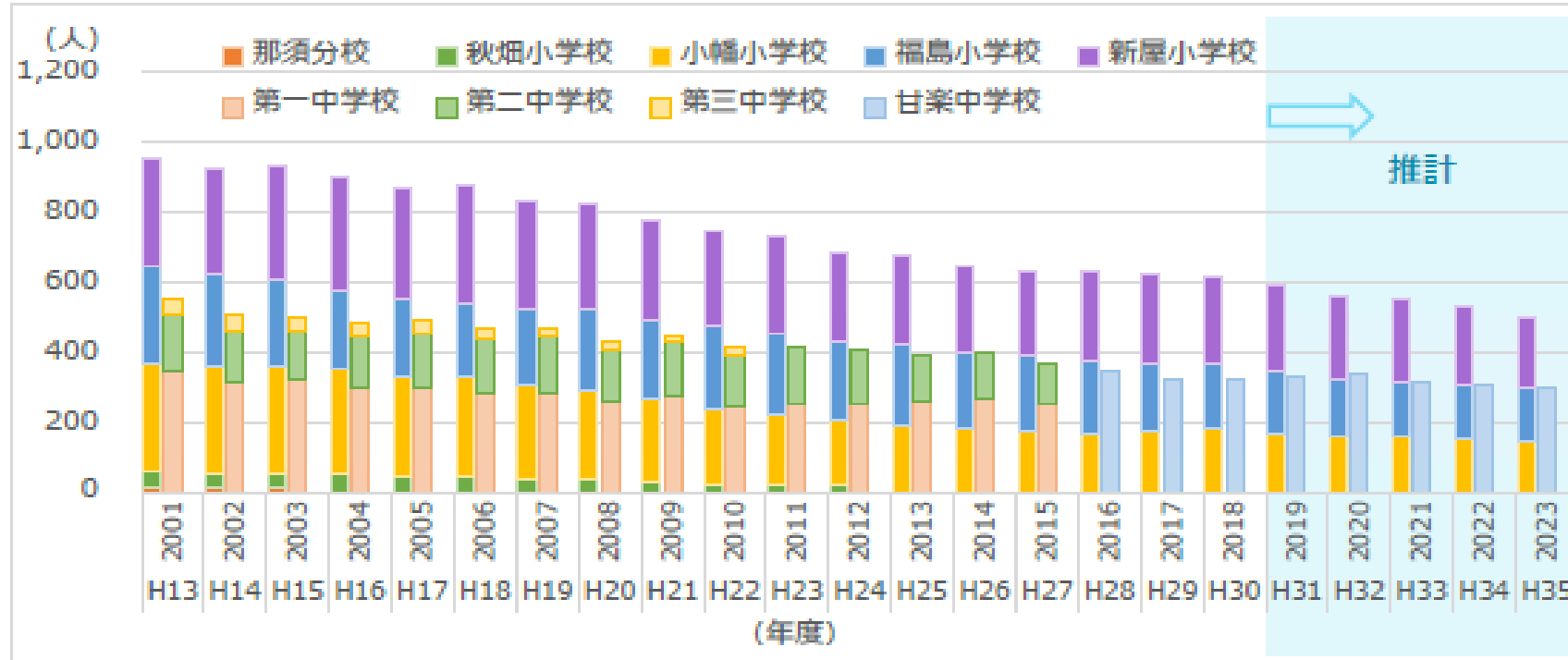


図5 小学校児童数・中学校生徒数の変遷 (平成31(2019)年度からは予測)

- ・ 那須分校 : 平成16(2004)年3月31日 廃校
- ・ 秋畑小学校 : 平成25(2013)年3月31日 廃校
- ・ 第一中学校 : 平成28(2016)年3月31日 廃校
- ・ 第二中学校 : 平成28(2016)年3月31日 廃校
- ・ 第三中学校 : 平成23(2011)年3月31日 廃校

出典…甘楽町資料

# 甘楽町立甘楽中学校開校までの歩み

- 平成14年 6月 甘楽町第4次総合計画で小・中学校の適正配置を位置付け
- 平成20年 6月 甘楽町立学校適正配置検討委員会が設置
- 平成20年12月 答申（将来的に3校を1校にするのが望ましい）
- 平成23年 4月 第三中学校を第二中学校に統合
- 平成28年 4月 第一中学校の改築に合わせて新設甘楽中学校開校  
（第一中学校と第二中学校を統合）

出典…甘楽町資料

# 質疑応答

甘楽町役場の職員との質疑応答の内容（抜粋）



# 地域との合意形成について

保護者説明会では  
どのような意見が  
出ましたか

- 通学距離が7 km以上なので、心配との声が保護者からあった。スクールバスを提案して概ねの了承をいただいた。

統合することに反対の  
声はありませんでした  
か

- 背景に人口が減少していることもありご理解いただけた。
- 自転車通学を認めたことで賛成を得られた。

3校の生徒数の差が大きくなり、全生徒数が30人を下回る学校があったことも合意がスムーズに進んだ背景にあるとのこと。新設校への引っ越し作業時には通学する中学生はもちろん、地域の方をあわせると1,000人を超える町民ボランティアが協力しており地域から愛される学校の誕生となった。



# 通学路の安全について

バスはどの位の割合  
で利用がありますか

- 中学生が320人いる中で秋畑地区（直線距離で8km程度）の生徒が6人ほど利用をしており、小学生も同じバスを利用するのであわせて10人程度乗車している。

安全面の配慮、整備はどのよう  
に取り組まれたのか

- 整備が不十分な地区には歩道整備や防犯カメラの設置。
- 自転車の指導（坂道は乗車禁止など）。
- 学校長、地区長、警察、土木事務所等と連携して必要な体制を整備。

移動中にバスから見た通学路は周辺に建物が少なく、街灯が無いと暗い印象だが、中学校新設に伴い、太陽光を活用したLEDライトの街灯が設置しており、自転車・徒歩・バスが安心して通れるように整備されていた。

# 学校の跡地利用について

元々あった校舎は現在どのようになっているのですか

- 那須分校の体育館は地元の公民館として活用。
- 一中は建物を解体。道路も入れて、東側には消防署を新設。
- 二中は1階を学童保育所、2階はひな祭りイベント等で活用。

那須分校の建物は趣があり、書道の団体が利用するなど学校ならではの良さを生かした活用をしている。今後にも観光面も含めて積極的な活用を検討をしているとのことでした。

# 適正配置後について①

適正配置前と後での  
変化はあったか

- 部活動の活性化（女子駅伝2年連続全国大会出場）
- 3校が1校になったことで生徒が集まり、接することで様々な人間関係を構築出来ている。
- 生徒同士で切磋琢磨することにより学習意欲が高まった（小学校は全国平均に届かないが、中学校は全国平均よりも高くなっている。）
- 最新機器を備えた給食センターから安心安全の給食を提供出来るようになった。



# 適正配置後について②



甘楽町HPから引用

適正配置を行うにあたり母校の  
モニュメントや記念品を残して  
おくような取り組みはありまし  
たか

- 開校記念誌の作成や、卒業する生徒はタイムカプセルを埋めるなど思い出を残した。
- 新しい学校にも旧中学校の賞状やトロフィーの飾るスペースを設置。

開校記念誌については町で販売をしており、卒業生の同窓会等で購入希望があるそうです。母校を感じられる取組は各中学校の庭石を配置するなど施設見学の際にも見受けられました。

# 甘楽町立甘楽中学校視察の様子



正面玄関

# 甘楽町立甘楽中学校の施設概要

## 【校舎】

- ・ 建物概要 鉄筋コンクリート造 瓦葺3階建て 5, 4 8 9 m<sup>2</sup>
- ・ 事業費 1, 4 1 4, 2 1 1, 4 0 0 円
- ・ 開校児学級数 1 2 学級
- ・ 開校時生徒数 3 4 9 人
- ・ 主な設備 エレベータ、エアコン
- ・ 工期 平成26年7月31日～平成27年12月11日

## 【体育館】

- ・建物概要 鉄筋コンクリート造 瓦葺3階建て 2, 531 m<sup>2</sup>  
(内、3階に武道場併設507 m<sup>2</sup>)
- ・事業費 783, 734, 400円
- ・工期 平成26年7月31日～平成27年12月11日



## 施設の特徴

地球環境にやさしい「エコスクール」として国の認定を受け、体育館の屋根には太陽公発電パネルを設置するなどの取組がなされている。



校庭から見た校舎



## 施設内①

町の杉や檜を切り出し、地元の製材所で加工した材料を教室や廊下等に使用。木の優しさや温かさが感じられる造りとなっている。



木の温もりが感じられる廊下

## 施設内②

段差が少ない造りとなっており、お手洗いなども照明が明るい印象である。ユニバーサルデザインの採用によるバリアフリー化がなされている。照明は自動感知式で消し忘れ対策にもなっている。



女子トイレ

# 食堂 (防災交流センター)

全校生徒が一堂に会して給食が食べられる食堂棟は、防災拠点としても活用されている。台風19号では、多くの住民を受け入れ炊き出しを行った。学校と別棟となっているため、非常時には防災交流センターとして活用される。構造としては学校との切り分けが可能で発電機と浄水器を常設している。



食堂を入口から見た様子

# 体育館

広々とした体育館の1階には約500台の駐車場と約350台の駐輪場を整備。ハンドボールの県の大会等にも使用されている。施設内に更衣室も設備されており、避難所機能の充実はもちろん、社会体育施設として地域と繋がる役割ももつ。



体育館の様子



## その他の体育施設

卓球台 8 台を設置できるスペースがあり、その他に剣道場 1 面、柔道場 1 面の武道場（学習指導要領の改訂に伴い中学校で男女ともに武道が必修になったことから設置をしたもの）、野球のグラウンドとサッカーのグラウンドは兼用で使用しており、さらにテニスコート 4 面、ハンドボールコート 1 面を所有している。ハンドボール強豪校である甘楽町に対応した大きな体育施設としたことで充実した練習に取り組めるようになった。

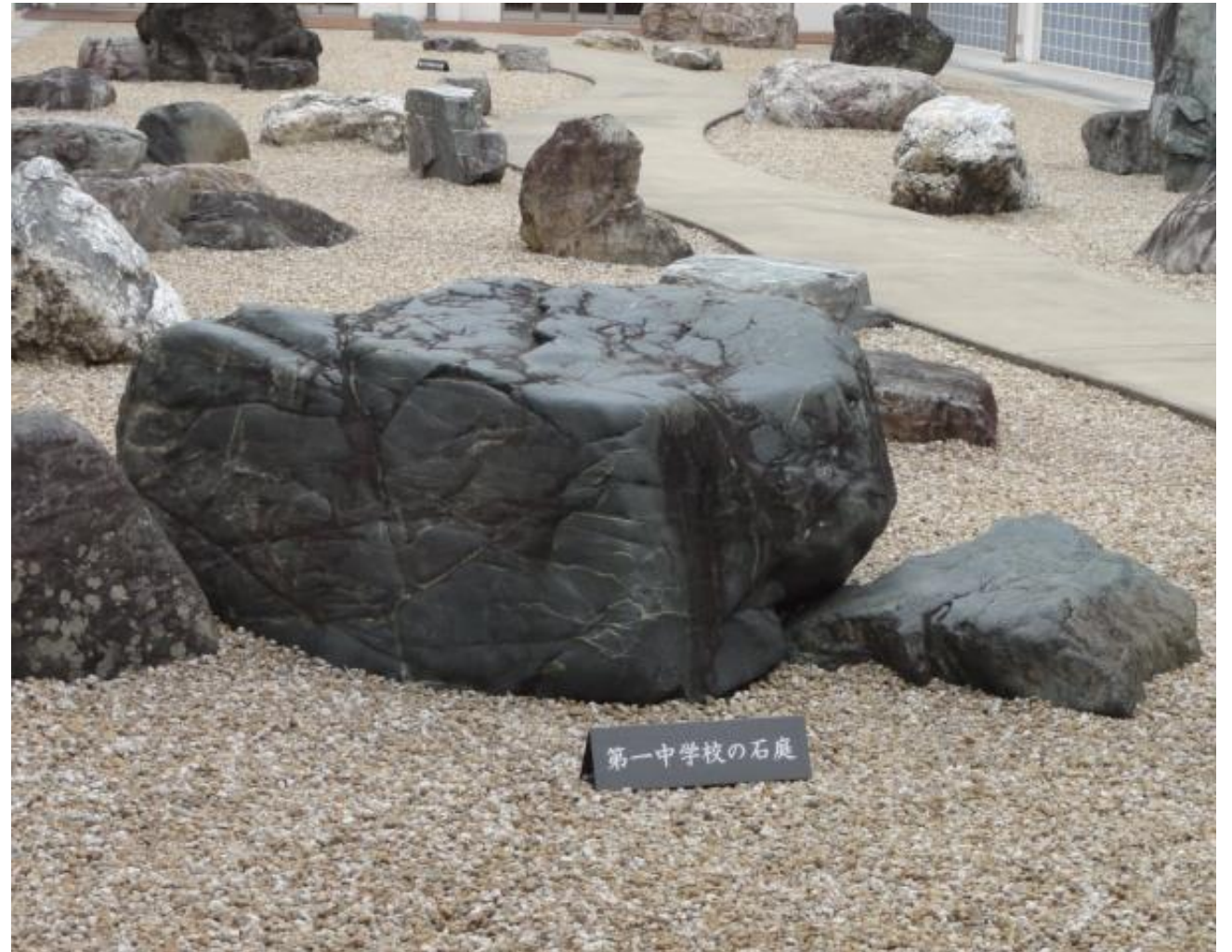
武道場



卓球場

# 中庭

旧中学校（一中、二中、三中）の庭石を配置。中庭があることで施設内により自然光が入るような設計となっている。また、玄関を入れてすぐの場所にあり卒業生が目にしやすい場所にある。



中庭の様子

# まとめ（審議会委員の感想等）

- 統合によって生徒同士の交流や部活動の充実が図られている様子が見受けられた
- 以前に比べて施設が整備されたことによる地域の学校利用の充実や生徒たちの給食の衛生面が良くなったことが分かった。
- 新設通学路の課題に対する取組が参考になった。（防犯カメラの設置や電灯の設置、道路の整備等。）
- 施設見学を通して、施設のイメージが出来た。（防災施設としての役割、体育施設の充実、地域の瓦や木材を活用した建築など）
- 具体的な跡地利用について知ることが出来た。（公民館、保育施設としての利用や建物解体後の整備など→消防署の新設、道路整備）